

# リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021 滋賀医科大学

リレー・フォー・ライフは、全国の各地においてがん患者さんとそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合いがん征圧を目指すチャリティイベントで、滋賀県では、10月16日～10月17日に開催されました。

当院では、職員やその家族が、がんで亡くなった人たちのを偲び、がんと闘ってる人たちが対がん運動への思いや祈りをこめたルミナリエバックを作成しました。

イベント開催前には当院正面玄関で展示し、イベント当日には滋賀医科大学で開催されたルミナリエセレモニーで点灯していただきました。



## お知らせ

### 第316回開放型病床生涯教育研修会兼第11回化学療法研修会のご案内

日時：令和3年11月11日（木）17:30～19:00

テーマ：個別化医療が進む肺癌の薬物治療

講師：静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科医長兼ゲノム医療支援室部長 けんもつ ひろつぐ 釧持 広知先生

会場：市立長浜病院本館2階 第1会議室

申込み：FAX またはメールにてお申し込みください。

※原則、Zoom でのご参加をお願いします。なお、会場での参加は先着20名とさせていただきます。

※参加申込期限：令和3年11月5日（金）

※日本医師会生涯教育制度指定講習会として申請します。

※新型コロナウイルス感染症の拡大の推移により、開催方針に変更がある場合は速やかにご案内いたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 歯科口腔外科の診療体制について

令和3年11月から、歯科口腔外科医師が1名減員いたしますが予約枠に変更はございません。なお、予約日までに診療情報提供書をFAXして頂きますようお願い申し上げます。

お手数をお掛けいたしますが何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■■ 編集後記 ■■

寒い季節になり、日が沈むのもかなり早くなりました。この時期からイルミネーションも増えてくるころです。

いつも通る道中に癒やしの光があると寒くても少し元気がもらえますね。



## 市立長浜病院 地域医療連携だより

令和3年11月1日号 No.202

理念  
地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、  
地域完結型の医療を進めます。

市立長浜病院  
患者総合支援センター 地域医療連携室  
〒526-8580 長浜市大戌亥町 313 番地  
TEL：0749-65-2720  
FAX：0749-65-2730  
<http://www.nagahama-hp.jp/>



救急告示病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
厚生労働省臨床研修指定病院  
周産期協力病院  
地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。11月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

## 回復期リハビリテーション病棟運営とコロナウイルス感染症対応

### 回復期リハビリテーション病棟長 江藤 謹司

市立長浜病院回復期リハビリテーション病棟は2013年に開設されました。土、日、祝日も含め1年365日のリハビリテーションを提供しています。

主に専任医師2名が患者さんを担当し、脳血管障害患者（脊髄損傷患者を含む）が60%、整形外科患者が28%、廃用症候群患者が12%となっています。転入元は院内が70%、院外が30%です。休日のリハビリテーション施行に必要なセラピストの人員の関係で最大入院患者数は42名で、目標平均入院患者数を38名としています。

入院治療の流れは、入院時に医師、看護師、セラピスト、医療ソーシャルワーカーによる合同評価を行った後、初期カンファレンスを行い、大まかな入院期間、治療目標などを決めます。また、週に1回、病棟回診を行い、月に1回、医師、看護師、セラピスト、介護士、医療ソーシャルワーカーという多職種によるカンファレンスを行い、情報共有を図っています。

患者さん、ご家族に対する情報提供は、月に1回程度カンファレンスを開き、多職種が合同で行っています。

また、状況に応じて、退院後の生活評価や住宅改修の助言のために、セラピストがケアマネージャーと合同で住宅訪問を行います。

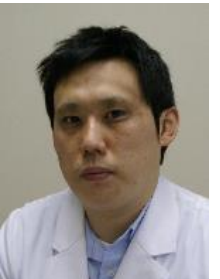
退院前には、院内スタッフに加え、ケアマネージャーを交えて、患者さん、ご家族と、現状や退院後の療養や生活について話し合います。退院先は、自宅が78%、施設が12%です。

昨今のコロナウイルス感染症への対応として、院外からの転入患者さんは2週間個室に入院していただき、状態を観察後に大部屋入院としています。入院中の面会は原則禁止で、オンライン面会で対応しています。

カンファレンスにおいては、ご家族の方は1名のみ参加とし、体調管理の確認とマスクの確実な着用を行っていただきます。訪問看護師、福祉用具、デイサービス等のサービス事業所については、以前は全ての事業所から参加していただきましたが、見合わせていただき、ケアマネージャーからの情報伝達としています。

入院治療の質の評価として、施設基準の中で、日常生活動作の指標であるFIMの改善と在院日数の短縮が求められます。

今年度は「3早」を合言葉に、「早く受け入れ、早く良くして、早く地域へ」を目指し、スタッフ一同が全力で取り組んでまいりますので、今後とも、当院の回復期リハビリテーション病棟をよろしくご依頼申し上げます。



# 当院の回復期リハビリテーション病棟取り組み紹介

回復期リハビリテーション病棟は、心身機能が低下した患者さんに対して集中的なリハビリテーションを行う病棟です。  
湖北で唯一の、市立長浜病院回復期リハビリテーション病棟の取り組みを紹介します。

## ① 365 日リハビリ

最大限の回復が得られるよう、365 日毎日リハビリを提供できる環境の整備をしています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリはもちろん、病棟スタッフによる病棟リハビリも実施しています。  
また、調理や洗濯、掃除などの家事関連動作訓練や、病棟内にある和室での床上動作訓練なども積極的に行っています。定期的にカンファレンスや回診を行うことで情報の共有や連携にも力を入れています。



## ② 最新医療機器の利用

電気治療機器や t-DCS (右写真：微弱な直流電流で頭部を刺激し、機能回復を促進する装置)、ロボット併用リハビリなど、患者さんの状態に応じて、回復を促すために最新機器を活用したリハビリを実施しています。  
最新機器が最大限の効果を発揮するよう、それぞれの特性を活かし、適切な患者さんに適切なタイミングで使用できるよう、主治医と相談しています。



## ③ 充実した歩行練習環境

歩行の再獲得には歩行練習の頻度を多くして、生活環境に応じた歩行練習を繰り返し行うことで、回復が早まることが知られています。  
当院では、歩行練習用の平行棒を病棟内の廊下やホールに設置しています。  
また、屋外歩行練習用のリハビリ庭園を有しており、退院後を見据えて積極的に歩行練習を行っています。安全に配慮した上で患者さんの自主トレーニングの指導を行っています。



## ④ 住宅訪問

住み慣れた住居で安心して生活ができるよう、状況に応じて担当スタッフがご自宅に伺います。ご自宅では患者さんやご家族に対して住宅改修や福祉用具の提案、動作指導を行います。  
また、退院後に地域での生活がスムーズに進むよう、ケアマネージャーや地域サービス機関の方とも連携を図っています。



## ⑤ 園芸活動

退院後も趣味の畑仕事をしたいという希望が湖北地域では多く、リハビリに園芸活動を取り入れることで、退院後も円滑に日常生活に復帰できるような取り組みをしています。野菜作りでは、患者さんから経験を活かしてアドバイスをいただくこともあります。  
園芸活動を実施することは、入院中の患者さんのストレス発散や精神面の賦活、達成感や満足感を得ることに繋がっています。



## ⑥ 感染予防

入院中の患者さんが安心してリハビリを行えるよう、治療終了ごとに治療台や物品の清掃、消毒を実施しています。  
また室内の換気や、患者さんへのリハビリ前後の手指消毒も徹底しています。  
スタッフは毎日の検温、アイシールド・マスクの装着を徹底し、治療ごとの手洗い、適宜手指消毒を行っています。



## ⑦ 各種専門チームの関わり

回復期リハビリテーション病棟におけるチーム医療の提供だけでなく、患者さんの症状に応じたケアやサポートを行う体制を整えています。  
また、栄養サポート、摂食嚥下、認知症ケア、呼吸ケア、ハートケアなどの専門チームが必要に応じて、回復のお手伝いを行います。



当院の理念である  
「患者中心の医療」  
を実現するために、  
多職種で協力して  
サポートさせていただきます。